

そとぐり

議会だより

No. 200



議会の新しい顔ぶれ 2

6月定例会 4

ここをどうする!? (8人が一般質問) 9



新しい議会、はじまる。

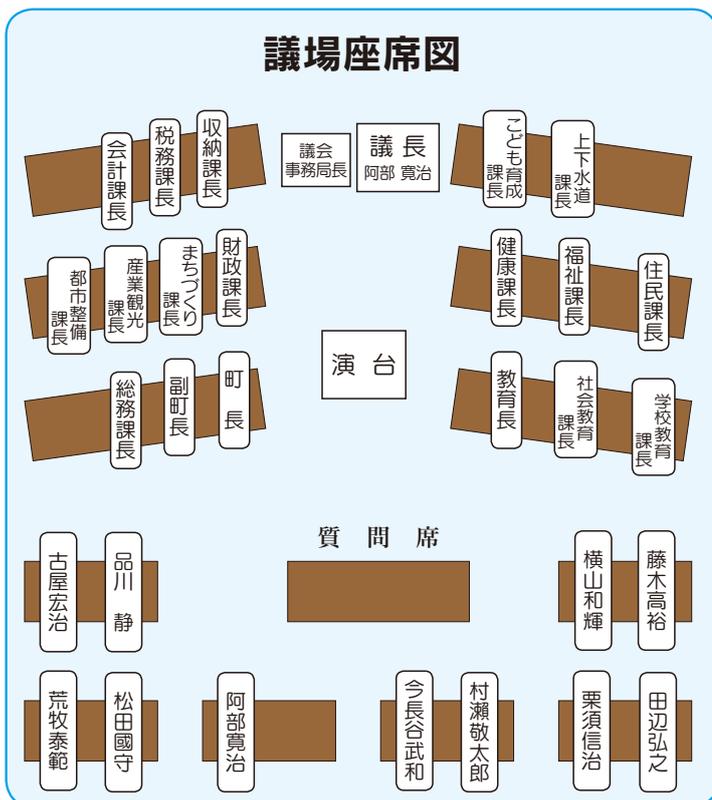
5月13日、町議会選挙後初めての臨時会（初議会）が開催され、新たな体制となりました。
新たな顔ぶれ（役職など）を紹介します。



副議長 村瀬敬太郎



議長 阿部寛治



❖ 議長就任挨拶 ❖

このたび、令和元年の節目の時に、篠栗町議会議長に推挙され、身に余る光栄でありますとともに、地方自治の一翼を担う議会の代表としての重責に、身の引き締まる思いでございます。

これからの我が国は、今後想定される「人口減少、超高齢社会」を見据え、活力ある地方の再生が必要です。そのためには篠栗町の地方自治を推進し、住みよい豊かな町づくりを目指し、行政とともに、未来に生きていく町民のために知恵を出し合い、議会全員の力を結集して行動していく決意です。

町民の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

篠栗町議会議長 阿部 寛治

新しい議会の顔ぶれ



荒牧 泰範
無所属 7期

議会運営委員会…………… 委員
総務建設常任委員会…………… 委員
須恵町外二ヶ町清掃施設組合… 議長



**副議長
村瀬敬太郎**
無所属 3期

総務建設常任委員会…………… 委員
議会広報広聴委員会…………… 委員
粕屋南部消防組合議会…………… 議員
都市計画審議会…………… 委員



**議長
阿部 寛治**
無所属 5期

須恵町外二ヶ町清掃施設組合… 議員
粕屋南部消防組合議会…………… 議員
福岡県介護保険広域連合議会… 議長



栗須 信治
無所属 2期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 委員長
議会広報広聴委員会…………… 委員長
北筑昇華苑組合議会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員
篠栗町総合戦略審議会…………… 委員



**監査委員
今長谷武和**
無所属 3期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員



松田 國守
無所属 5期

議会運営委員会…………… 委員長
総務建設常任委員会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員
観光審議会…………… 委員



品川 静
無所属 1期

総務建設常任委員会…………… 委員
議会広報広聴委員会…………… 副委員長
観光審議会…………… 委員



古屋 宏治
無所属 2期

議会運営委員会…………… 副委員長
総務建設常任委員会…………… 委員長
須恵町外二ヶ町清掃施設組合… 議員
篠栗町総合戦略審議会…………… 委員
農業振興地域整備促進協議会… 委員



田辺 弘之
公明党 2期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 副委員長
議会広報広聴委員会…………… 委員
民生委員推薦会…………… 委員長

※大楠議員の辞職について

5月22日、大楠英志議員から一身上の都合により、町議会議員の辞職願が提出され5月24日、議長により許可されました。



藤木 高裕
立憲民主党 1期

文教厚生常任委員会…………… 委員
議会広報広聴委員会…………… 委員
民生委員推薦会…………… 委員



横山 和輝
無所属 1期

総務建設常任委員会…………… 副委員長
議会広報広聴委員会…………… 委員

6月定例会

6月6日から14日まで、9日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生両常任委員会、予算特別委員会において、町長提出の条例案や補正予算、専決処分など計14議案を審査しました。そのほか、発議案2件がありました。

また最終日の本会議にて、町長提出の13議案と発議案2件を原案のとおり可決、1議案を継続審査としました。

各議案に対する賛否一覧を8ページに掲載しています。

条 例

手数料を改正

篠栗町手数料徴収条例の制定(議案第40号)

受益者負担の公平性を確保し、公共施設の運営改善と行政サービスの改善を図るため、手数料の見直しを行うもの。

令和2年4月1日から施行。

継続審査

篠栗町土木工事負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定 (議案第43号)

負担金の免除措置について、「議会の同意から議会への報告に変更すること」は、受益者負担の原則に特別措置を適用するにあたり、事実上、議会の手エックを無効にするものだ」という意見があり、継続して審査することとなった。

災害援護資金の貸付け見直し

篠栗町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (議案第42号)

改正の主な内容は、被災者支援の充実を図るため、

- ①貸付利息「年3パーセント」を、「年3パーセント以内で規則に定める率」に改めるもの
- ②年賦償還、半年賦償還に月賦償還を追加
- ③保証人が不要となる

問 貸付利息について3%以内とあるが、率は変動するの?

答 規則で定める率は、年1%である。

この条例は、公布の日から施行。

発 議

二つの「特別委員会」を設置

「篠栗町自然環境・新エネルギー対策特別委員会」の設置に関する決議 (発議第1号)

本町の豊かな自然環境を適正に保全し、町民の健全な生活環境を守るため、総合的な環境対策に関する調査とともに、新エネルギー施策の推進など総合的なエネルギー対策に関して調査するため。

委員長 古屋 宏治 議員
副委員長 横山 和輝 議員

「篠栗北地区産業団地整備事業特別委員会」の設置に関する決議 (発議第2号)

篠栗北地区産業団地整備事業に係るさまざまな課題を調査し、事業の進捗状況を含めて監視するとともに、必要に応じて提言を行うことを目的として特別委員会を設置する。

委員長 古屋 宏治 議員
副委員長 栗須 信治 議員

設置期間はいずれも令和元年6月14日から調査・事業が終了するまで。

各会計補正予算（議案第48号～52号）

会計別の補正予算額は下記のとおり。

（万円未満四捨五入）

会計		補正額	補正後予算額
一般会計		8402万円	102億3924万円
国民健康保険特別会計		156万円	30億7180万円
後期高齢者医療特別会計		437万円	4億3288万円
下水道事業会計	収益的支出	△30万円	8億7367万円
水道事業会計	収益的支出	△179万円	5億2309万円

一般会計の主な補正については別表1～4のとおり。

特別会計については人事異動に伴う人件費の補正が生じたもの。

（表1）歳入の主なもの

地方交付税（普通交付税）	391万円
国庫支出金（農業用施設災害復旧事業補助金・プレミアム付商品券事業補助金）	6683万円
諸収入（コミュニティ助成事業・総務課雑入（返還金））	9268万円
町債（農業用施設復旧事業債・緊急自然災害防止対策事業債）	310万円

（表2）歳出の主なもの

民生費 児童福祉総務費（幼児教育の無償化対応システム変更）	508万円
衛生費 総合保健福祉センター運営費（オアシス篠栗電話交換設備更新工事）	500万円
商工費 商工総務費・プレミアム付商品券費（プレミアム付商品券事業関連）	6593万円
教育費 社会教育総務費（コミュニティ助成事業補助金）	△460万円
災害復旧費 農業用施設災害復旧費（広田井堰災害復旧工事）	600万円

（表3）債務負担行為

粕屋南部消防組合分担金（平成30年度同意債元利償還金）	1064万円
-----------------------------	--------

（表4）地方債の追加

農業用施設復旧事業債	160万円
緊急自然災害防止対策事業債	150万円

令和元年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算 専決処分

平成30年度の国民健康保険特別会計予算に歳入不足が生じたことに伴い、令和元年度会計から1億2100万円を繰り上げ充用。



「グランドデザイン説明会」

各学校の特色ある教育活動について地域住民や保護者に情報を発信する場となっている

「篠栗町教育プラン」にもとづいた各学校の経営目標や、特色ある教育活動など信頼される学校づくりの取り組みについて説明があった。

文教厚生常任委員会
6月4日（火）
令和元年度篠栗小中学校
グランドデザイン説明会

契約

工事金額の変更

工事請負変更契約の締結

〔篠栗北地区産業団地造成工事〕（議案第45号）

契約先 若築建設株式会社

変更前金額 20億5833万5300円

変更後金額 25億1099万8920円

増減額 4億5268万3620円

増額の主なものは、残土処分費、切土法面のアンカー工設置、伐根材の処分、地盤改良などによるもの。



造成工事

反対討論 横山和輝 議員

本案は篠栗北地区産業団地造成工事の契約額を4億5200万円強の増額を行うために提出された議案である。

請負契約の工事積算額は当初概算工事費の約6割に膨れていたが、さらに今回2割強増額となれば当初概算の約2倍近い工事積算額になる。

また、変更内容の説明写真や資料が不足し納得するには程遠い説明であった。

ちなみに、今回の変更契約額を含め11億円の赤字となる。これを税の増収で補填する場合、増収の75%地方交付税がカットされ返済に30年以上かかる。この開発が町の将来に大きな禍根を残す恐れがある。このことを強く主張し反対討論とする。

賛成討論 松田國守 議員

この変更契約は、篠栗北地区産業団地造成工事の変更であり、開発事業の大部分を占めている根幹に関わる工事である。

主な変更点は、県土整備事務所との協議により、降雨期(6月～9月)の鳴瀬ダムへの搬入予定の残土を、民間処分場へ搬入したことや、すべり法面が確認されたことによるアンカー工の施工、地盤改良、土質改良等が必要になったものである。

契約額が4億5000万円余りの増額で、しばらくは財政負担も生じるが、立地条件が非常に良く、固定資産税等の税収が期待でき、将来の収入でカバーできる許容範囲と考え賛成する。

工事請負変更契約の締結
〔篠栗北地区産業団地1号調整池築造工事〕
(議案第46号)

契約先 株式会社洪本建設

変更前金額 1億6956万0000円

変更後金額 1億6787万3040円

増減額 △168万6960円

減額の主なものは、地盤改良における固化材の添加量など、施工内容の照査等によるもの。



第1号調整池築造工事



津波黒地区法面補強工事

工事請負変更契約の締結
「津波黒地区法面補強工事」（議案第47号）

契約先	株式会社不動産トラ九州支店
変更前金額	8億3592万0000円
変更後金額	10億0661万2920円
増減額	1億7069万2920円

増額の主なものは、工期短縮のための工法変更、アンカー工の濁水処理、その他によるもの。

反対討論 横山和輝 議員

本案は津波黒地区法面補強工事の契約額8億3500万円強を10億600万円強に増額変更するために提出された議案である。

変更理由は工期を短縮するためアンカー工法で法面補強を行っていたものを、途中から施工期間が短くて済む別のアンカー工法に切り替えるためとのことであった。しかし、工期の終了時期に変更がないことから、工期短縮は単に請負業者が工期内に工事を終了できないことから施工単価がより高額な工法へ変更が行われた疑いが強く、そのために1億7000万円強の増額を行うことなど到底許されないことを主張し反対討論とする。

賛成討論 松田國守 議員

この変更契約は、津波黒地区の安全・安心を確保することは当然のことで、新たに整備される篠栗北地区産業団地を通る町道の保全のためにも必要な事業であると認識する。

想定があいまいと言わざるを得ない部分もあるが、何よりもまず町の防災力を高め、強靱化を図る必要があると思う。

こうした点を考慮すると、本案は重要な位置づけであり、事業も竣工に近づいていることから、本議案に賛成の意を表明する。

5月臨時会

5月の臨時会では、専決処分1件、財産の取得について1件を審査し、本会議にて、全ての議案を原案のとおり可決・承認しました。各議案に対する賛否一覧を8ページに掲載しています。

防災行政無線、アナログからデジタルへ

財産の取得について (議案第37号)

防災行政無線（デジタル移動系）更新業務により財産を取得するもの。

契約先	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社九州社
契約金額	1458万円
取得する財産	
親局設備	1局
車載型無線装置	23基
携帯型無線装置	20基

議決結果一覧表

	議案番号	議案名	議決結果	
5 月 臨 時 会	選挙案1	篠栗町議会議長の選挙	投票 阿部寛治	
	選挙案2	篠栗町議会副議長の選挙	投票 村瀬敬太郎	
		篠栗町議会常任委員会委員の選任	選任内容については P3のとおり	
		篠栗町議会運営委員会委員の選任		
		篠栗町議会広報広聴委員会委員の選任		
	選挙案3	粕屋南部消防組合議会議員の選挙	指名推選 阿部寛治 村瀬敬太郎	
	選挙案4	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会議員の選挙	指名推選 阿部寛治 荒牧泰範 古屋宏治	
	選挙案5	北筑昇華苑組合議会議員の選挙	指名推選 栗須信治	
	選挙案6	福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙	指名推選 阿部寛治	
		36	専決処分の承認（専決第1号）〔篠栗町税条例等の一部を改正する条例の制定〕	全員賛成承認
	37	財産の取得	全員賛成可決	
	38	監査委員の選任	出席者全員賛成同意	
6 月 定 例 会		39	専決処分の承認（専決第2号）〔令和元年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）〕	全員賛成承認
		40	篠栗町手数料徴収条例の制定	全員賛成可決
		41	篠栗町行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
		42	篠栗町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
		43	篠栗町土木工事負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	継続審査
		44	篠栗町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
		45	工事請負変更契約の締結〔篠栗北地区産業団地造成工事〕	賛成多数可決 (反対: 荒牧・横山・藤木)
		46	工事請負変更契約の締結〔篠栗北地区産業団地1号調整池築造工事〕	全員賛成可決
		47	工事請負変更契約の締結〔津波黒地区法面補強工事〕	賛成多数可決 (反対: 荒牧・横山・藤木)
		48	令和元年度篠栗町一般会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
		49	令和元年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
		50	令和元年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
		51	令和元年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
		52	令和元年度篠栗町水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
	発議 第1号	「篠栗町自然環境・新エネルギー対策特別委員会」の設置に関する決議	全員賛成可決	
	発議 第2号	「篠栗北地区産業団地整備事業特別委員会」の設置に関する決議	全員賛成可決	

一般質問

8人が一般質問

- 1. 荒牧 泰範 議員**…………… 10
 - 駅東自由通路事業費は適正か
 - 篠栗北地区産業団地の見通しは
- 2. 田辺 弘之 議員**…………… 11
 - 町はSDGsをどのように考え、取り組むのか
- 3. 品川 静 議員**…………… 12
 - 高齢者支援事業をベースとした世代間交流の可能性は
 - 森林セラピー 10周年記念事業は課題に取り組む改革を
- 4. 横山 和輝 議員**…………… 13
 - 隣接町は驚異的増加なのに、何故篠栗の人口だけ減り続けるのか
- 5. 今長谷 武和 議員**…………… 14
 - 買い物弱者対策は
- 6. 藤木 高裕 議員**…………… 15
 - 私なら尾仲大柳地区にJR駅、その北側に産業団地を検討するが
- 7. 松田 國守 議員**…………… 16
 - 篠栗北地区産業団地開発が、町にもたらす効果は
- 8. 古屋 宏治 議員**…………… 17
 - もっと町の魅力を町外へPRしては
 - 教育長就任の決意は

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

駅東自由通路事業費は適正か

町長「整備終了後に判断を」

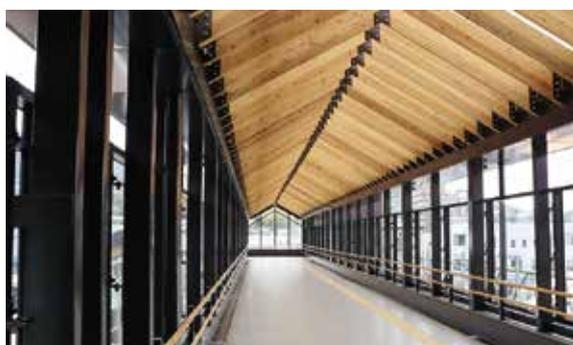


荒牧 泰範

問 本年1月26日供用開始の篠栗駅東側自由通路は、令和元年度周辺整備を行い、総事業費10億7170万円ほどで事業完了の予定である。

必要な通路ではあるが、交付金を除く基金の取り崩しや一般財源などが6億9460万円ほど支出されており、横断距離66・5mで割ると1mあたり1045万円という非常に高価な歩道となり、費用対効果は非常に低いと思われる。

乗降客の利便性を上げているので、JRからの用地購入費5288万円も、寄付していたく等の交渉ができなかったかも尋ねる。



ささぶりっじ

答【町長】 「ささぶりっじ」は、駅周辺における南北往來の利便性向上と高齢化社会に向けて3基のエレベーターを設置し、高齢者が自由に往來できるようにという思いで建設を行った。

本町の玄関口のシンボルであり、今後、愛される施設になればと願っている。最近では車いす利用者も見かけ利便性向上に繋がっていると実感している。

費用対効果は、周辺整備が終わったところで判断いただければと考える。

答【町長】 工事請負が41億9700万円で、主な財源は進出企業への売却収入が32億4800万円、不十分は起債で対応する。償還計

間企業では考えられない事だが、相当額の負債になると思われる。その償還計画と財源を示していただきたい。

加えて、進出企業で6区画全て埋まらなかった場合と、竣工後、地すべり等が発生した時の責任はどこにあるのかも尋ねる。

問 造成中の篠栗北地区産業団地は、当初計画の甘さから、随分と当初の予算を超えている。最終的な収支予定を201号線沿いの土留め工事も加えての見通しを尋ねる。

画の財源は、企業の固定資産税や法人税収入等で考えている。津波黒地区法面補強工事は10億9000万円となり、自然災害防止事業債で交付税措置28・5〜57%で対応する。

区画が埋まらなかった場合は、今、この場で申し上げるものでなく、不備が発生した場合は造成業者が自社分について整備する。

篠栗北地区産業団地の見通しは

町長「開発工事42億円弱、法面工事11億円弱」

町はSDGs(エスディー・ジーズ)をどのように考え、取り組むのか

まちづくり課長「総合計画などで検証、分析して着手していく」



田辺 弘之

問 「持続可能な開発目標」SDGsが注目されており、地方自治体や民間企業で政策や事業に取り入れる動きが活発化している。町のSDGsへの取り組みは。

答【まちづくり課長】 総合計画などで17の目標が本の方向性とどれだけ合致するのかを検証、分析して着手していきたい。

問 多くの部署が連携できる推進本部的な中心部署を設けては。

答【まちづくり課長】 総合計画などで17の目標が本の方向性とどれだけ合致するのかを検証、分析して着手していきたい。

問 次期総合計画にどのように盛り込んでいくのか。

答【まちづくり課長】 第6次総合計画を着実に進め、SDGs版第7次総合計画策定を見据えていく。二次創生総合戦略に「地方創生に向けたSDGsの推進」の趣旨を盛り込んでいく。

問 理解の裾野を広げるには。

答【まちづくり課長】 総合戦略推進本部で「第2次篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に入っており、課や局を横断するこの組織をベースにしていく。

問 広報まぢづくりの特集やSDGsに関するワールドカフェなどを実施していきたい。

答【まちづくり課長】 広報まぢづくりの特集やSDGsに関するワールドカフェなどを実施していきたい。

問 目標4「質の高い教育をみんなに」は、「学校教育プラン」「社会教育プラン」「こどもいきいきプラン」に基づき、教育施策の質を高めたい。

答【教育長】 目標4「質の高い教育をみんなに」は、「学校教育プラン」「社会教育プラン」「こどもいきいきプラン」に基づき、教育施策の質を高めたい。

持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられており、啓発の取り組みは。

答【教育長】 SDGsの教材の制作が進められており、特徴や理念について全教職員が研修し、あらゆる機会で指導するよう環境整備を進めていく。

問 教育分野と関係が深い目標4、5の施策は。

答【町長】 総合計画はSDGsだけのためにやるわけではなく5年計画で進めていくべきと思っており、次の計画の中で形にしていく。

まずは、「第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略」の項目の中に織り込みながら、実効性のあるものを探っていく。

「誰ひとり取り残さない社会の実現」を目指し、貧困や格差、気候変動などの課題解決に向け、国連加盟国が2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のこころ。17の目標やそれを達成するための具体的な169のターゲット(Target)の指標で構成される。



問 新学習指導要領の前文に「持

問 第7次総合計画は2027年

高齢者支援事業をベースとした世代間交流の可能性は

教育長 「地域貢献活動の場として検討が可能」



品川 静

問 「おひさま活動」は在宅高齢者のための活動であり、第6次篠栗町総合計画で行政区単位の拡充を挙げている。津波黒区の方々の尽力があつてこそその活動であると実感した。

現在、対象世代が限定されているが、「おひさま活動」をベースとした子どもたちを含めた世代間交流の可能性と現在の活動例があるかを伺う。

答 【福祉課長】

「おひさま活動」は介護予防事業であり、その財源は介護保険で賄われるため対象高齢者とする要件を逸脱することができない。



このマークが目印
「おひさま活動」

問 い。他に世代間交流を行う場や人々は多くあるので、活動支援を連携して行つていきたい。

答 【教育長】 時期や安全対策などの整備が前提だが、地域貢献活動の場としての検討が可能であると考えている。

要望 「おひさま活動」や「子育てボランティア」に携わる方々が互いに協力しあえる環境はその活動を活性化していく原動力になり得ると考える。今後のさらなる行政の支援を願う。

森林セラピー10周年記念事業は課題に取り組む改革を

産業観光課長 「健康事業として体制の整備が必要である」

問

森が木材の価値でしか評価されなかつた時代から、森の恵みやその力が科学的に証明され、存在価値が注目される時代になった。森林セラピー基地篠栗10年の節目にあたり、課題である町民の皆様へのサービスに繋がる持続する改革が必要だと考える。課題に取り組む10周年記念事業について伺う。

答 【教育長】

学校生活の中で緊張ししやすい傾向など、森林セラピーの効果を定期的に得る機会を必要とする児童生徒への提供や、地域学校協働活動の地域学習としても非常に有効だと考える。

要望

森をいかに良い環境で子どもたちに残していくかという課題にも繋がるため、さらなる森林セラピーの活用を検討を願う。

答 【産業観光課長】

健康事業としての町民の理解が浸透しているとは言い難い。メニュー作り、広報宣伝や受付、事業体制の整備などの検討の必要がある。

問

現在、一部の学校で大人数での体験は行われているが、教育

隣接町は驚異的増加なのに、何故篠栗の人口だけ減り続けるのか

町長「2、3年後に人口増加のピークが来るよう取り組みをしている」



横山 和輝

問 平成25年末に、あるテレビ局が企画した「住みたい街総選挙」でわが町が県内で1位となったことがある。ただ、この総選挙手法に疑問があることや、その後も人口減少が続くことから実際は定住希望者が少ないのではと心配していた。

答 しかし、乙犬で67戸の分譲住宅の販売が開始され、販売価格が5000万円を超えるにもかかわらず売れ行きが順調であるとの聞き、篠栗町への定住希望が多いことを確信した。

定住希望が多いのに人口が減少するのは戸建てを求めてもその用地が確保できないからでは

ないのか。

問 それらを踏まえ即効性のある対策は都市計画、とりわけ第1種低層住居専用地域の建ぺい率、容積率の数値を増やすことだと考える。このことは昨年6月議会で理解を示されたと考え、改めてその意思があるかどうか尋ねる。

答【都市整備課長】現在、第1種低層住居専用地域の容積率、建ぺい率を超える物件はなく、これらを変更する必要はないと考える。

問 昨年6月議会で理解を示されたようだが、これはどういったことか。

答【町長】一般質問で提案を頂き理解を示した。その後深く協議を進めていない。現状は現ルールのおり。

問 この5年間で粕屋町は2913名、須恵町1464名、久山町632名増加しているのに篠栗町だけが164名減少し、まるでドーナツの穴の部分のようになっている。この事実をどう考えるのか。

答【町長】自治体は不動産業者ではないのでまちの魅力を発信するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において取り組み町の人口増のきっかけとなる政策をしている。

今後またもうひと伸び、確実に伸びると認識している。

問 確実に伸びると言う根拠は。

答【町長】確実に減少するという根拠がないのと一緒で私どもの町に残された地域のポテンシャルがそのようにしていくと期待している。

問 町が積極的に何かを行うことではないのか。また、いつまでどれ位増やすのか。

答【町長】2、3年後がピークになると思う。そのためしっかりとその取り組みを進める。

篠栗町	総人口	前年比
H27年3月	31,533	-4
H28年3月	31,659	126
H29年3月	31,551	-108
H30年3月	31,506	-45
H31年3月	31,373	-133

粕屋町	総人口	前年比
H27年1月	45,121	409
H28年1月	45,741	620
H29年1月	46,509	768
H30年1月	47,188	679
H31年1月	47,625	437

久山町	総人口	前年比
H27年1月	8,344	-11
H28年1月	8,370	26
H29年1月	8,597	227
H30年1月	8,771	174
H31年1月	8,987	216

須恵町	総人口	前年比
H27年5月	27,539	325
H28年5月	27,727	188
H29年5月	27,825	98
H30年5月	28,340	515
令和元年5月	28,678	338

買い物弱者対策は

町長「立地適正化計画の検討を指示している」



今長谷 武和

問 近年、少子高齢化が進み、篠栗町も高齢化率24%で高齢者世帯数、高齢者の独居世帯も増加している。
町内の商店も廃業が進み、高齢者や子どもたちが立ち寄れるお店が減少している。
高齢者による車事故も多発し、自動車運転免許証を自主返納され、住み慣れた町での生活が難しく、まさに買い物弱者になられている。
いつまでも住みやすく、安心した生活を続けられる町にするためには、買い物弱者対策を早急に考えるべきだと思つた。

答【町長】 国が求める※立地適正化計画を策定するように県からも言われており、担当課へ検討するように指示している。

問 改訂マスタープランに基づく都市計画区域の見直しに店舗の誘致は。

答【都市整備課長】

店舗等を建築する民間主導計画の場合、都市計画マスタープランや県の計画に沿うものであれば、都市計画決定に向けた検討を進める。

問

- ① 町内の高齢者のみの世帯数
- ② 独居世帯数

答【福祉課長】

- 令和元年6月1日現在
- ① 2200世帯
- ② 1805世帯

買い物弱者対策は、先進事例の調査・研究を行い、可能な限り取り組みを検討したい。

問 福祉バスのルート増・増便の検討は。

答【健康課長】

現在オアシス巡回バスは、4コース2台で9時から18時過ぎまで無料運行し、町民の方へ喜んで頂いているが、定期便として時間を配分運行している関係上、要望に対応できない。

運行ルート増の解決策は、指定管理者と協議を進めているところだが、運輸局へ年間交通計画を得て、運行している関係上、変更はすぐには困難で今後の検討課題になっている。

増便については、1台増あたり、年間一千万円強の費用が発生するため、財政面で困難な状況であるが、高齢者の移動手段の確保は重要な課題となっている。さまざまな角度から検討を行い、今後、町内の各地域・行政等での意見を集約し、検討を進めていきたい。

要望

高齢者のニーズを考え、年中

運行し、便利な巡回バスとなるよう要望する。

※立地適正化計画
居住機能や医療・福祉・商業・公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡した市町村マスタープランの高度化版



私なら尾仲大柳地区にJR駅、その北側に産業団地を検討するが

まちづくり課長「他の地区では検討していない」



藤木 高裕

問.....

北地区産業団地が企業誘致目的の開発であることは理解できる。そして、自治体は自己財源確保のため企業誘致を行う必要がある。しかし、無謀な企業誘致は財政圧迫を招く恐れがある。

本地区のような大型企業誘致のための開発は、過去の経験の有無が事業の成否の大きな要因になると考える。

三浦町政になって企業誘致の実績があるかを尋ねる。

答【まちづくり課長】

今回のように町が事業主体となる開発は、篠栗町政始まって以来の大事業となる。なお、企業誘致開発の成否に過去の経験が大きな要因になるとの認識は持っていない。

問.....

企業誘致目的で開発を行う場合、開発地区の選定は入念に行わなければならない。私なら尾仲の大柳地区にJR駅を新設し、その北側の農地に誘致するケースを考える。他の適地を検討し採算性等を導き出し、地区を特定する必要があったのではないか。その検討はされたのか。そして、本地区に決定した根拠を尋ねる。

答【まちづくり課長】

当該開発事業を進めるにあたり、事業パートナーの選定において、本町が求める将来の展望と合致したことからその提案を進めている。

メリットとして、地権者が一つであること、開発面積が広大

に確保できること、国道201号と県道547号と接続し高速道路との接続がスムーズに行えることなどがある。

問.....

今までの町長発言を確認すると、開発エリア内の費用が事業費で、その他の地滑り対策費、上下水道工事費等は事業費に言まない考えのようだが、事業により発生する費用は全て事業者が負担するのが一般。見解を求め。

答【町長】

開発事業体としての町、そして、公共事業を行う事業体としての町を明確にしながら進めている。

答【まちづくり課長】

事業用地売却にあたり、公正な価格を買主に示すため不動産鑑定を行っている。不動産鑑定において定められた算出方法により求めた造成費などを加味し、売買価格とする不動産鑑定が出されていて、それが売買価

格となり、全て事業費が進出企業の負担になるとの認識は持っていない。

篠栗北地区産業団地開発が、町にもたらす効果は

まちづくり課長「さまざまな取り組みの展開で経済波及効果が期待される」



松田 國守

連携をどのように考えてあるか。

答【町長】

整備事業の中心となる造成工事については、順調に推移している。これまで8回の特別委員会で説明してきたが、説明自体も整理しきれなかったことから、さまざまな指摘を受けたことは、大いに反省すべき点であると思う。今後は、これまで以上に具体的に説明をして、ご理解を得たいと考えている。

答【まちづくり課長】

これまでのまちづくりは、地域と行政が一体となって、課題解決に取り組んでいくという構図であった。これからは、企業が持つ専門的なノウハウや、多様な人材、幅広いネットワークなどの活用が想定でき、さまざまな取り組みが進められることから地域と行政、そして民間企業が一体となる必要があると考える。

問

北地区産業団地の開発において支出が言んでいるが、今後当該団地開発が、町にとつてどのような効果をもたらすのか。

答【まちづくり課長】

進出企業側も全国の体験型工場の視察を精力的に展開するなど、体験型の工場見学が検討されている。実現すると町に新たな観光スポットが生まれ、国内外からの大勢の観光客が訪れることになり、経済波及効果が期待される。

今回の産業団地開発の取り組みは、篠栗町が、今後持続可能な自治体となるための大事な足がかりとなる事業であることをご理解いただき、この開発整備事業を見守っていただきたい。





古屋 宏治

もっと町の魅力を町外へPRしては

産業観光課長「人を呼び込むためには情報発信が必要」

問 いろいろな自治体で、観光誘致や居住者獲得の動きが加速してきており、PR活動に力を入れてきているが、わが町のPR活動について問う。

近年の観光客の推移は。

答【産業観光課長】

H 25年	173万人
H 26年	176万人
H 27年	187万人
H 28年	189万人
H 29年	199万人

問 凄じ数の観光客だが、霊場巡りの方がほとんどではないか。

答【産業観光課長】 ホームページやイベントブース出展や口コミ。体験者数は約9000人で、体験者のほとんどが満足との感想。

問 町内で森林セラピーのアンケート調査を行なった。76%の方が認知してあったが、体験者は14%しかない。体験イベント等は検討してあるか。

答【産業観光課長】 10周年イベントを考えている。

問 そこから、町内の観光各所への誘い込み策は。

答【産業観光課長】 75%が霊場関係であり、以前から議論しているがまだ解決策がない。

問 森林セラピー基地篠栗の町外へのPR方法は。

また、オープン以来の体験者数と感想は。

問 新しいPR施策はあるか。

答【産業観光課長】 観光大使も4人に増員、地域おこし協力隊も積極的に活動しており、新しい方法を検討していきたい。

教育長就任の決意は

教育長「リーダーシップを発揮したい」

問 教育委員会制度改革が行われ、教育委員会の代表とし大変重要な役割であると思う。これから目指す所信及び具体的な施政方針をお聞かせいただきたい。

答【教育長】 篠栗町で育った子どもたちや、町で暮らす人がこれからもずっと暮らしたいと感じ、町に住む全ての年齢層の人に、自己実現や生きがいの支援をしていく。子育て世代には、充実した子育て支援。学校教育においては、

問 ユーチューブやLINEスタンプを作成しては。

答【産業観光課長】 観光協会等と一緒に取り組んでいきたい。

学校教育プランに基づき「高い志を持ち、心豊かでたくましい篠栗っ子」を目指す子ども像として掲げ、その具現化に向け、幼小中一貫教育を推進する。社会教育においては、さまざまな学びを通じ、喜びを感じることが出来るような施策を実施していく。

教育長として、※3課の連携強化に向けてリーダーシップを発揮していきたい。

- ※3課
- こども育成課
- 学校教育課
- 社会教育課

私たちが、 議会の“今”を伝えます。



今回で200号を迎える議会だよりが、新しい広報広聴委員会のメンバーでつくる初めての議会だよりとなりました。

これから4年間、より親しみやすく、わかりやすい広報づくりを目指していきます。

よろしくお願ひします。

旬花衆灯

森林セラピー基地篠栗は、大変自然に恵まれた場所。森へ入ると、静寂な中で“生命の営みの音”が聴こえてくる。鳥のさえずり、風の音、虫の声、木々のざわめき、その豊かさは計り知れない。

春になれば花が咲き、夏になれば葉が生い茂り、秋には色づき、冬には枯れこぼる...

森の中では生き物の命がすべて循環し朽ち果ててもなお新しい命を繋いでいる。

当たり前のことが、とても特別なことだと気づかされる

品川 静

9月議会は

9/4(水) 開会

9/6(金) 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部寛治 議会広報広聴委員会 委員長 栗須 信治／副委員長 品川 静
委員 村瀬 敬太郎・田辺 弘之・横山 和輝・藤木 高裕

令和元年8月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1390 FAX092-947-1442 印刷／株式会社三光